

令和5年度学校評価アンケート（後期）

ま と め



こうなんちゃん

【学校教育目標】

「心豊かで、自ら学び、夢に向かってたくましく生き抜く子どもの育成」

【チャレンジ目標】

「進んであいさつ だまって掃除 天気のいい日は外あそび」

■グラフの見方

- ・肯定率は、「あてはまる」「おおむねあてはまる」の合計を、「分からない」「無回答」を除いた全回答者数で割り、百分率（%）で表したものです。
- ・前期の結果と比較できるように、上下に並べて表示しています。上が7月（前期）、下が12月（後期）です。

宇部市立厚南小学校

< I > 学力アップ

★平均肯定率：78.7%

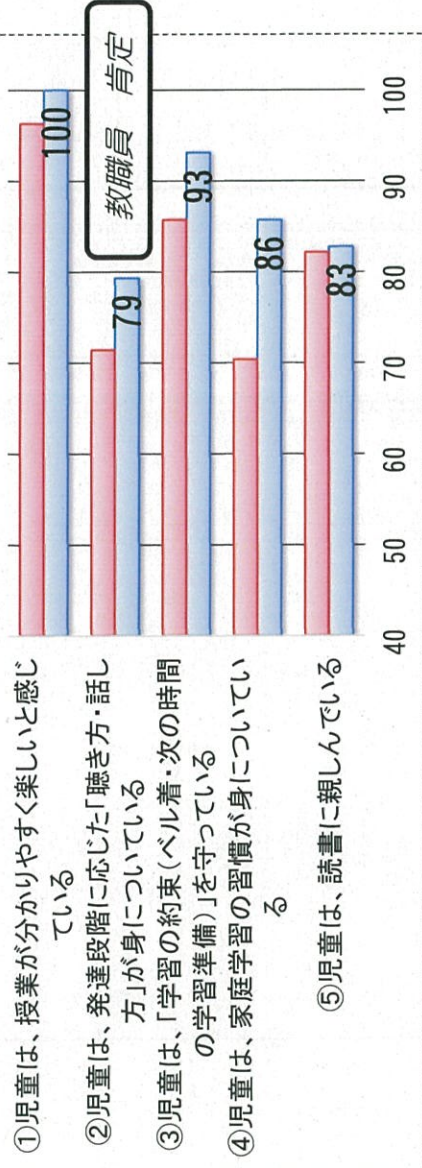
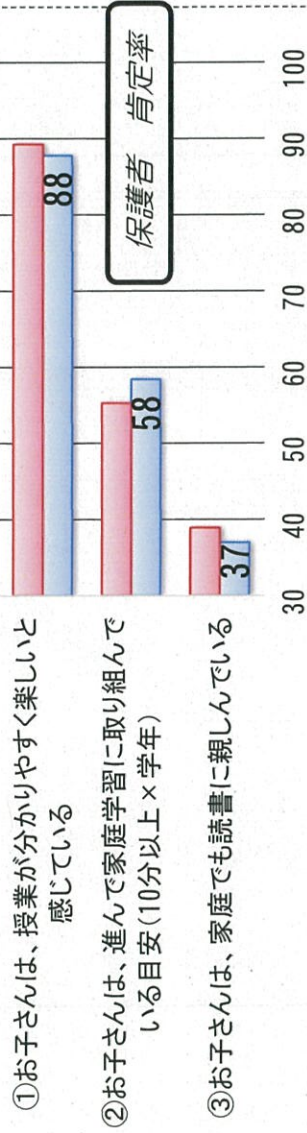
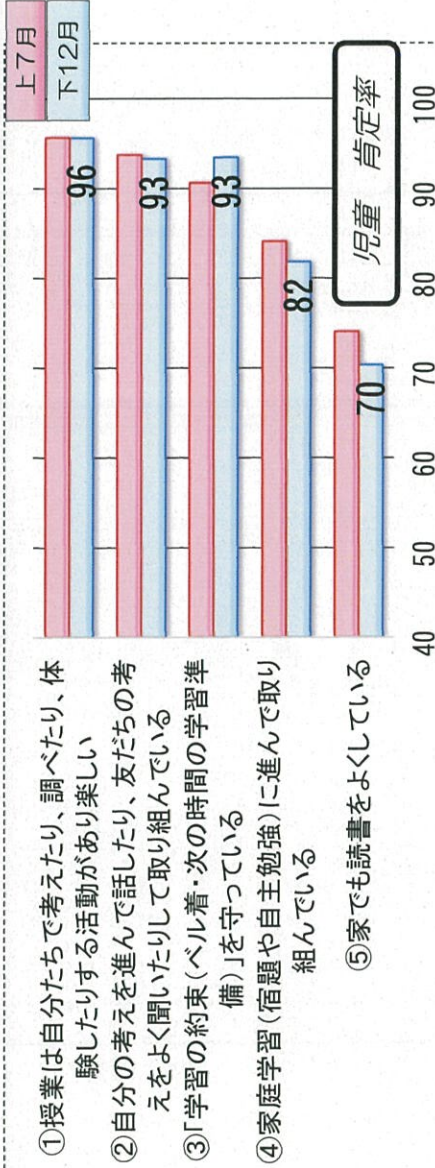
【今年度の重点目標（取組）】

- 「分かる・楽しい」につながる指導のPDCAサイクル（授業の工夫・改善）の取組
- 学習規律・学習習慣の徹底
- 児童の話す・聴く力を伸ばすための工夫と改善
- 児童の主体性（学力）を伸ばす朝学・自主学習の充実及び児童自身による学習のPDCAサイクルの実施
- 家庭での読書習慣の定着

■「家庭での読書習慣」に関しては、肯定率が児童・保護者ともに低下傾向にあります。読書キヤンペーン週間やノーマーデーと関連させて読書時間を確保するなどの手立てが必要であると感じていきます。児童が家庭で本を読む機会を増やしていくため、土日は本を持ち帰ったり、おすすめの本の紹介等を家庭に配付したり、宿題で読書を入れ込むなど、全校で組織的に活動を増やしていきます。

■「家庭学習に進んで取り組んでいる」に関しては児童の肯定率はやや低下したものの、保護者と教職員の肯定率は高くなりました。学校全校で取り組んでいる「自主学習」も習慣になってきている児童が増えています。児童自身が「自主的に取り組んでいるか」がポイントです。引き続き、宿題や自主学習の声かけを行います。

■「授業が分かりやすく楽しいと感じている」に関しては、引き続きPDCAサイクルを意識した指導・支援を行っていきます。児童に関しては、自己分析の確認ツールとしてテストの勉強→テストの実施→結果からやり直し（自己分析）→次の学習につなげる・前の学習にもどるを意識した取り組みを行っていきます。



<Ⅱ> 安心安全アップ

★平均肯定率：90.2%

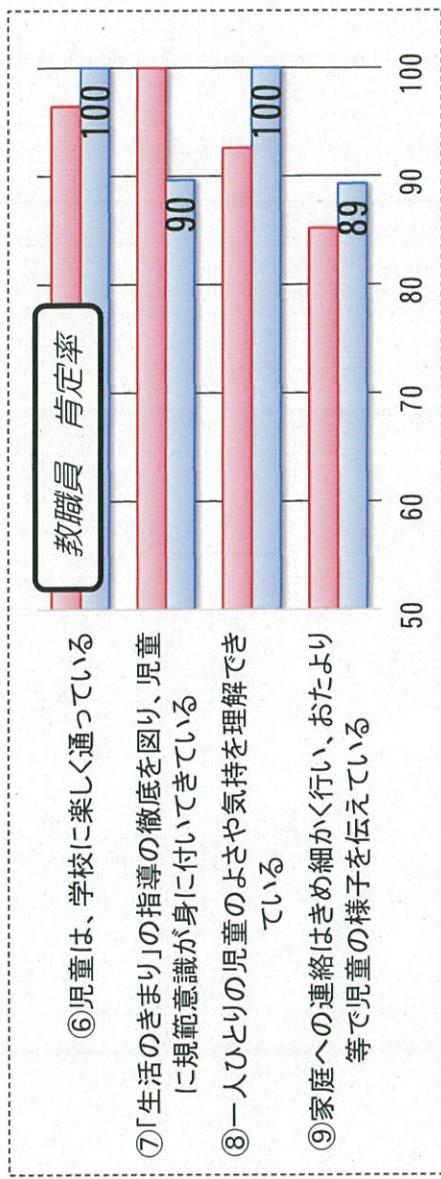
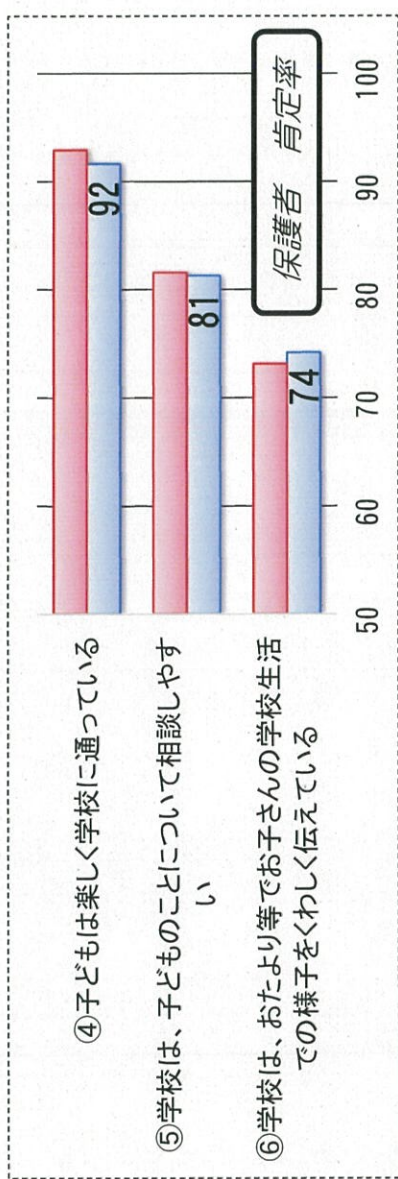
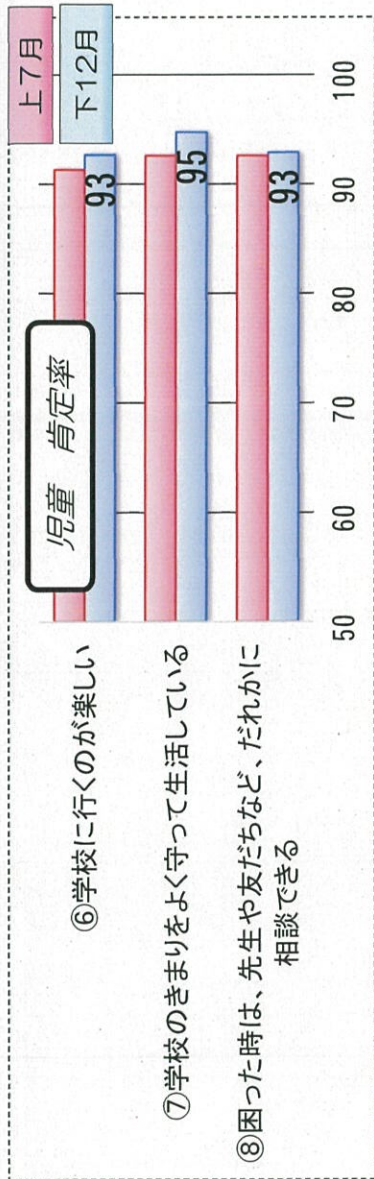
【今年度の重点目標（取組）】

- 情報共有・同一歩調での規律を大切にした生徒指導体制の充実
- 多面的な児童理解及び問題の早期発見と対応

■「学校に楽しく通っている」に関しては、前回より児童の肯定率は上がっていますが、保護者の肯定率は下がっています。今後は、人間関係づくりを学ぶための体験的な活動により多く取り入れる等、すべての児童が気持ちよく過ごせる学級・学校をつくるように取り組んでいきます。

■「困った時に相談しやすい」に関しては、児童の肯定率は前回と同様ですが、保護者は1ポイント下がっています。学校では、週1回の「生活アンケート」、学期に1回の教育相談、相談ポストの活用等により、児童が相対的に環境を整えながら、全職員で多面的な児童理解を深化させるよう努めます。そして、児童や保護者のよき相談相手として、しっかり信頼関係を築けるように日々取り組みんでいきます。さらに、児童や保護者の悩みや不安が少しでも解決できるように、スクールカウンセラーとの連携も密にしていきたいです。

■「学校のきまり」に関しては、来年度に向けて全校で見直しを行いました。児童主体で見直すことで、一人ひとりがよりきまりについて意識し、行動できれいと思えます。生活委員会を中心に学校の課題が解決できる取組を今後も行っていく予定です。



<Ⅲ> 豊かな心アップ
★平均肯定率：85.6%

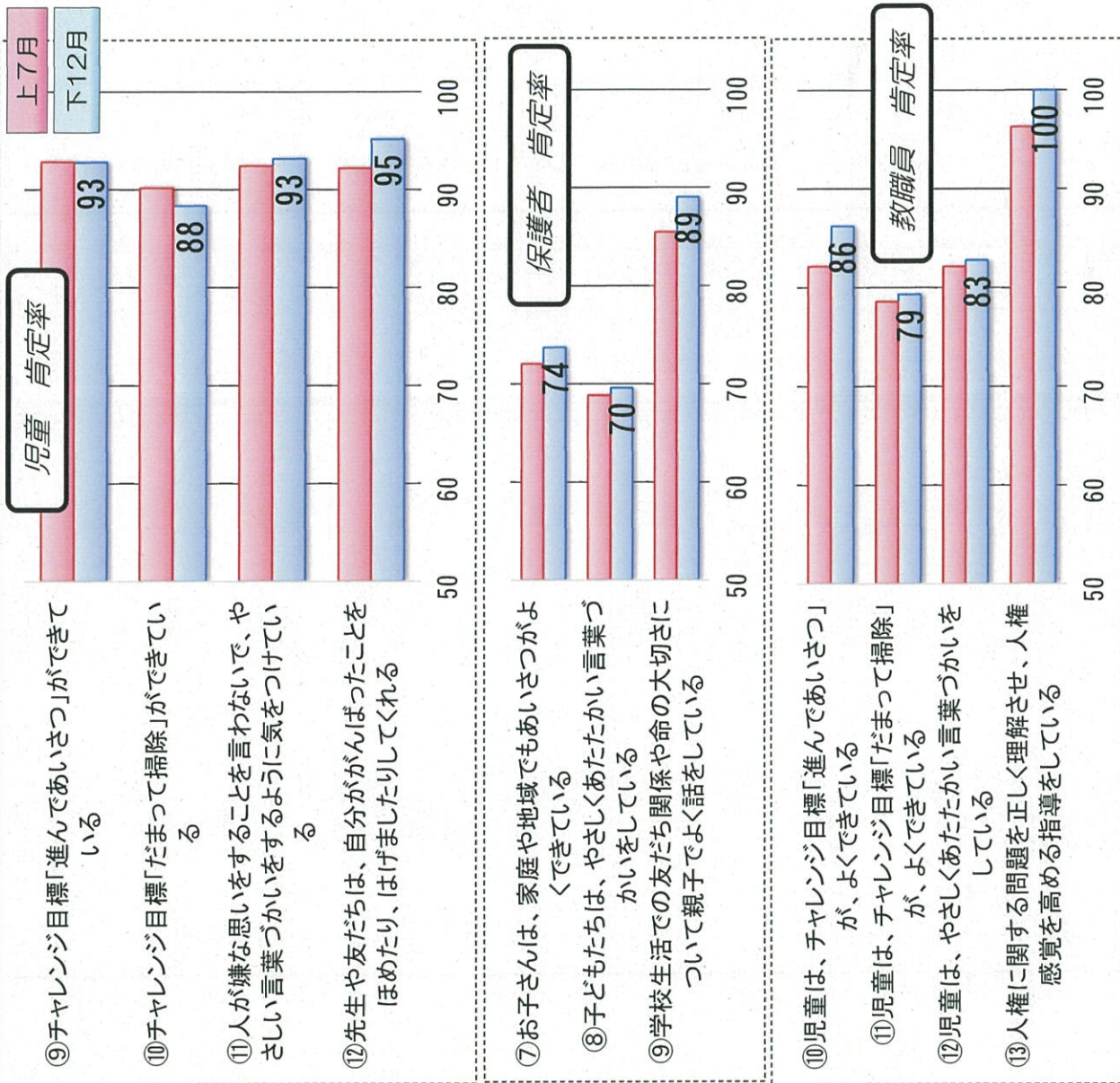
【今年度の重点目標（取組）】

- 互いを認め合える関係づくり、居場所のある楽しい集団づくり
- 言葉遣いやあいさつ等の礼儀やマナーなど規範意識や人権感覚を高める取組
- 人への思いやりを育み、命の大切さを実感させる指導の強化

■「あいさつ」に関して、あいさつ運動を通して低学年を中心にあいさつができる児童が増えています。顔見知りの先生にあいさつをする児童が多い一方、知らない先生にはあいさつを返さない児童もいます。今後は、あいさつをしたらあいさつを返すことのできる児童を学校全体で育成していきます。

■「だまって掃除」に関しては、児童の肯定率が2ポイント下がっています。整美委員会を中心に掃除の仕方を確認したり、静かに、丁寧に掃除をしたりできるように取組を行っています。

■「やさしくあたたかい言葉遣い」に関しては、わずかに増加しているものの、課題が残っています。「言葉のアンケート」を実施し、その結果をもとに、優しく思いやりのある言葉が増えるよう、言葉遣いについて考える機会を設けていきます。



<Ⅳ> 元気力アップ

★平均肯定率：84.1%

【今年度の重点目標（取組）】

○メディアコントロールや体力向上・元気パワーアッププランの着実な取組

■家庭・地域と連携し、子どもたちに科学的データに基づいたメディアの影響について知らせ、子どもたちが自分から納得して、メディアコントロールに取り組みめるようにしていきます。
 ・メディアの使い過ぎによる体への影響を学ぶ機会をつくります。

・メディアコントロールをきっかけに、親子の会話が増える等、家庭で過ごす時間がより充実するよう啓発していきます。

■PDCAサイクルを意識した子ども主体の体力向上に向けた取組を行います（投力中心）。
 ・学校生活を通して運動に親む機会を増やします。※ドローえもん体操、体力テスト2回実施、投力の器材、体育委員会を中心としたイベント等
 ・運動メニューを自分で選択したり、練習に動機を活用したりする等、ICT環境を活用していきます。

<Ⅴ> コミュニティ・スクール

★平均肯定率：61%

■子どもを主体としたカリキュラムをもとに、生活科や総合的な学習の時間を充実させることにより、ふるさとへの愛着や地域貢献意識を育む取組を進めていきます。

